

私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



▽在宅当番医制は現在17機関で運用している。在宅当番における平成21年6月～平成22年3月末までの受診者数や施設数が減少してきており、平成16年には東祖谷クリニック（その後、平成17年1月には東クリニックとして開院）、平成19年には三木医院、堀川医院、唐住医院、藤島産婦人科医院が閉院となっている。平成21年度には大池医院分院が閉院している。

②医療体制の状況

③外来患者の生活機能の把握（ハイリスク群の抽出）

④日常生活の指導助言

⑤状況に応じた関係機関の紹介（専門医、地域包括支援センターなど）

⑥ケアマネや地域包括支援センター職員との連携

地域医療支援リーダー養成講習会が実施されました

～第2回～

今月号は、平成22年10月14日に実施された地域医療支援リーダー養成講習会の第2回目の講習内容をご紹介します。

【第2回内容】

①三好病院の現状と今後の方向性：三好病院
②かかりつけ医と地域医療支援体制：三好市医師会
今回は、三好市医師会長の内田先生が講習された「かかりつけ医と地域医療支援体制」についてご紹介いたします。

■三好市医師会の状況
①会員数の推移
三好市医師会も徐々に会員数や施設数が減少してきており、平成16年には東祖谷クリニック（その後、平成17年1月には東クリニックとして開院）、平成19年には三木医院、堀川医院、唐住医院、藤島産婦人科医院が閉院となっている。平成21年度には大池医院分院が閉院している。

の総数は1368人であり、日当たり平均受診者数は4・5人となっている。

▽平成21年度の救急受入れは20機関で、病院および有床診療所では14機関、無床診療所では6機関となっている。

▽平成21年7月からは7機関において三好病院の応援診療を頂いている。

■かかりつけ医に期待される役割

①傷病に関する診断・治療

②生活機能低下要因の評価と除去

③外来患者の生活機能の把握（ハイリスク群の抽出）

④日常生活の指導助言

⑤状況に応じた関係機関の紹介（専門医、地域包括支援センターなど）

⑥ケアマネや地域包括支援センター職員との連携



第39回医療功労賞を受賞 市立三野病院院長 中西嘉巳先生

第39回医療功労賞に徳島県内から3名の方々が選ばれました。その1名に、市立三野病院院長中西先生がこの名誉ある賞を受賞され、2月2日、県庁にて読売新聞社より表彰されました。



三好市の地域医療のために奮闘

中西先生は、35歳で町立三野病院（現・市立三野病院）に、徳島大学病院から3～5年の任期という事で赴任され、任期満了後、徳島大学病院に戻ることを選び、22年の長い歳月が流れ、現在に至っています。先生も57歳となられ、医師としての大半の人生をこの三好市の地域医療に注ぎ込んでいただきました。公立病院は過酷な勤務条件の中で診療することが余儀なくされています。そのため、全国的に公立病院から医師が離れ、医療の崩壊が叫ばれています。このような環境の中で、中西先生は現在も三好市の地域医療のため奮闘されています。市立三野病院も医師不足の体制で過酷な状況の中、診療にあたっています。ありがとうございます。

中西院長は「医師とは患者さんの感謝に支えられながら、どんなに忙しくてもやりがいのある仕事である」と以前から語っています。



【医療功労賞とは】
日本の医療現場には、離島、山間、豪雪地帯など、自然条件との戦いを強いられる現場や、昼夜を問わず勤務が不可欠の重度心身障害者施設や各種専門医療施設など、今なお困難をともなう現場が数多く存在しています。

「医療功労賞」は、このような厳しい環境なかで活動を続け、顕著な実績を残した医療関係者に光を当てることを目的に昭和47年に創設されました。

主催：読売新聞社
後援：厚生労働省など

「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」が策定されました

近年、救急搬送において受入医療機関の選定が困難な事案が全国各地で発生し社会問題化しました。また、本県においては三次救急医療機関に搬送された傷病者のうち、軽症者が約4割を占め、ウォークインの患者を併せると、特定の医療機関・救急救命センターに患者が集中しており、勤務医の疲弊をもたらすとともに、本来対応すべき重篤な患者を受入れられないという事態を招く恐れがあります。

こうした状況を改善し、消防機関による救急業務としての傷病者の搬送および医療機関による当該傷病者の受入れの迅速かつ適切な実施を図るため、平成21年5月に消防法が一部改正され、本県においても「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」（実施基準）が策定されました。

みよし広域連合消防本部において、「実施基準」に沿った傷病者の観察、搬送先病院の選定を実施します。

【実施時期】
平成23年4月1日から（みよし広域連合消防本部では3月1日から試行します）

| 実施基準策定前 | 実施基準策定後 ※変更点は赤字 |
|-------------------|-------------------|
| ① 119番通報 | ① 119番通報 |
| ② 通信指令課受信（救急隊出動） | ② 通信指令課受信（救急隊出動） |
| ③ 通信指令課病院選定 | ③ 救急隊傷病者収容（観察・処置） |
| ④ 救急隊傷病者収容（観察・処置） | ④ 救急隊により病院選定 |
| ⑤ 傷病者搬送 | ⑤ 傷病者搬送 |
| 通報内容により病院を選定していた | 救急隊が実施基準に基づき病院選定 |

【救急車の適正利用にご協力を】

救急車を呼ぶ前に：
軽いケガや緊急性のない安易な救急要請の増加は、命の危険がある重症傷病者への対応の遅れを招きます。救急車を要請するときは、緊急性があり、救急車以外に搬送手段がないか、もう一度考えてみてください。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、他の交通機関等をご利用ください。救急車を呼ぼうか迷ったときや症状から見ても緊急性があると感じた場合は、迷わず119番通報をしてください。診察可能な病院がわからない場合は、みよし広域連合消防本部をご利用ください。



お問い合わせ先
みよし広域連合消防本部（☎76・5118）

第2回 健康づくりフォーラム 開催のお知らせ

日時 3月27日（日）
13時30分～15時30分
場所 三好市保健センター多目的ホール

内容
講演「乳がんの予防と早期発見について」
・（独）国立病院機構 東徳島医療センター 外科部長 本田純子先生
・患者の立場から あげぼの徳島
対象 どなたでも参加できます

お申し込み・お問い合わせ先
三好市健康づくり課（☎72-6767）



■ 市長が e-Tax を体験



1月31日、俵徹太郎市長が市役所市長室にてe-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用した所得税確定申告書の送信（電子申告）を体験しました。e-Taxは税務署に行かなくてもパソコンを使って国税庁ホームページにアクセスして申告できるシステムです。

池田税務署では、「インターネットに接続できれば、24時間どこからでも申告できる。また、所得税については、最高5,000円の税額控除もある」などとして利用を呼びかけています。

■ お忘れなく 春の確定申告

確定申告は、お済みですか。申告期限は、所得税3月15日、消費税3月31日までとなっています。

■ お問い合わせ先

池田税務署（電話 72-2155）
http://www.nta.go.jp

三好市スポーツ振興基本計画策定について



昨年の6月25日、教育委員会は三好市スポーツ振興計画策定委員会に対し、教育長からスポーツ振興基本計画策定の諮問を行い三好市スポーツ振興計画策定委員会では、5回の策定委員会を開催し、慎重に審議が重ねられてきました。このたび、その審議結果を策定委員会を代表して、佐川伸一郎委員長と平尾菊夫副委員長から教育長に答申がなされました。それを受け、平成23年2月23日の定例教育委員会において、三好市スポーツ振興基本計画が認定されました。

この計画の期間は、平成23年度から平成30年度の8年間とするものであり、市民の誰もがスポーツに親しむことができるように、「みんなが主役、生涯スポーツのまち 三好市」を基本理念とし、すべての市民が様々なかたちでスポーツにかかわり、一人ひとりがその中心となって三好市のスポーツ振興をささえてほしいという願いが込められています。



この基本計画は、三好市教育委員会ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。今後とも、三好市のスポーツ振興にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先
三好市教育委員会スポーツ健康課
(電話 72-3917) (ホームページ http://www.miyoshi.ed.jp)

「始めよう 市民主役のまちづくり」シリーズ まちづくり条例 第四弾

お問い合わせ先
三好市 企画調整課
電話 72-7607・ファックス 72-7202
kikakuchousei@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

▶ 第10回市民委員会



昨年12月から毎回テーマを変えながら、条例に盛り込む内容について意見交換をしています。1月27日の第9回委員会では、「市長等の責務、行政運営の原則、市役所の組織等」についてワークショップを行いました。市長の責務については、市政の実情を市民にわかりやすく説明する責任がある、市民の幸せや生命・財産を守ることに市長の責務である、といった意見がありました。市の職員については、市民の立場に立って仕事をしなければならぬ、地域社会の担い手として積極的に地域活動に参加してほしいという意見が出ました。

行政運営の原則として、市の施策について分かりやすく説明すること、市民の苦情や要望に対して迅速に回答すること、市政に関する情報は公開すべきといった意見が出されました。2月10日の第10回委員会では「行政運営、議会、議員」がテーマとなりました。三好市では議会がケーブルテレビで公開されているため、市民委員の皆さんの関心もとても高く、多くの意見が出されました。特に、議会の公開はされているものの議会の活動内容をもっと詳しく説明すべきという意見がありました。また、議会はもつと自由な討論の場にしてほしい、市民ともっと意見交換をしてほしいなど、議員の責務に関する意見も多く出されました。

「市民の意見を聞く会」進行中

三野地区の第1回に続き、第2回（池田地区）、第3回（井川地区）「市民の意見を聞く会」を開催しました。第2回は10名、第3回は15名の参加をいただき、それぞれ地元在住の市民委員をリーダーとしてワークショップを実施しました。どちらの会でも活発な意見交換となり、「三好市のよいところ」として、自然・歴史・観光資源などのほか、どの地域でも人情豊かでコミュニケーションの助け合いがあるという意見が多くありました。「まちづくりの課題」としては、少子高齢化によってまちの活気

1月27日、市議・市職員を対象に「まちづくり条例について」皆で考えようまちづくりのルール」と題し、四日市大学岩崎恭典教授による講演会を開催しました。市民委員も合わせて約80人の参加があり、岩崎教授自身が関わった他都市の条例内容や、条例策定の意義について説明していただきました。まちづくりはそれぞれ地域によって方法は異なるが、まちづくりのためのルールを示しておくことが重要であり、それがまちづくり条例であること。また、日本全体で今後人口が減少傾向にある中で、今までも税収が増えていたからこそ何でも請け負っていた自治体が、これから減少し続ける税収の中で市民の安心安全な暮らしの維持を中心に力を入れていかなければいけない。その時に、昔は当然のように住民が行っていたことを、今もう一度住民が自治体と一緒に考えながら実行する、これがまちづくり（協働）であるというお話がありました。

行政や議会の責務はどんなことか

まちづくり条例の講演会を開催

ケーブルテレビ番組放送予定

ケーブルテレビサービスセンター ☎ 72-2766

3月11日 から 4月10日

| 5ch (アナログ)、111ch(デジタル) | 9ch (アナログ)、112ch(デジタル) |
|--|---|
| <p>■ヘそっこニュース</p> <p>市内のニュースを毎日放送、土曜日更新 6時・7時・9時・12時・18時半・19時半・24時</p> <p>■NHKスペシャル 映像の世紀</p> <p>第11集「JAPAN ～世界が見た明治・大正・昭和～」 3/19～25 20時</p> <p>■とくしまマラソン2011 中継</p> <p>3/20 9時～16時</p> <p>■三好市議会3月定例会 中継</p> <p>3/11,15,17,22,24,25 10時</p> <p>■平成22年度 中学校卒業証書授与式(市内全校)</p> <p>3/26,27 13時・19時</p> | <p>■徳島新聞文字ニュース あわのかわらばん</p> <p>毎日 7時40分・12時40分・23時40分</p> <p>■四国まんなかニュース</p> <p>四国中央市と観音寺市のニュース 毎日 8時・22時</p> <p>■徳島県広報番組 県政アンテナテレビ</p> <p>毎日 9時30分・17時30分</p> <p>■とくしまマラソン2011 中継</p> <p>3/20 9時～16時</p> <p>■徳島県議会 中継</p> <p>3/11 10時</p> <p>■徳島県議会 再放送</p> <p>3/12 19時</p> <p>■三好市議会3月定例会 再放送</p> <p>3/13～16,18,20,25,27,28 19時</p> <p>■平成22年度 中学校卒業証書授与式(市内全校)</p> <p>3/26,27 9時</p> |

※小学校卒業式は、放送日時が決定しだい、静止画放送にてお知らせします。
※予定は変更、中止となる場合があります。